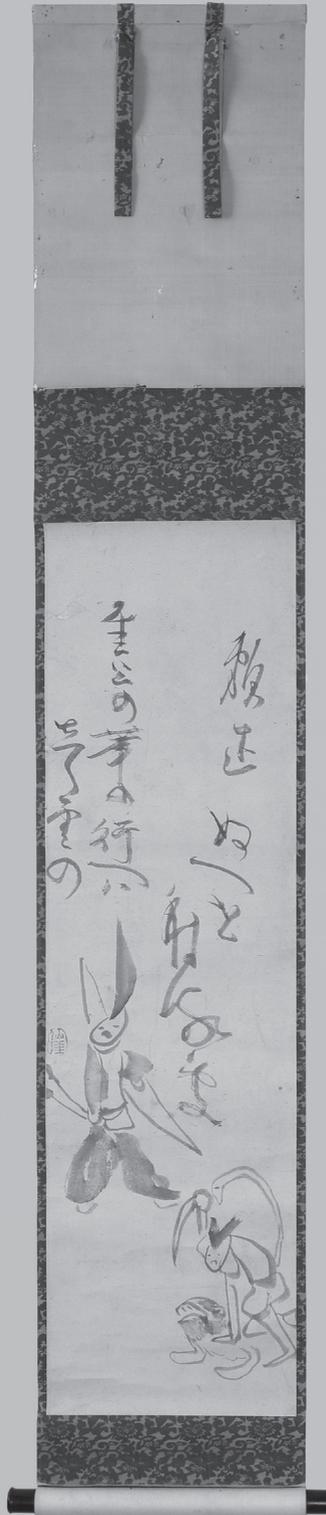


令和6年7月号

令和6年7月1日発行（毎月1日発行）

第25巻 第7号 通巻292号



仙厓「鶴退治図」。画賛は「重公の筆の行へはしら雲の頼政ぬへを射落處」。面目ないのだが、冒頭の「重公」に自信がない。軸に添えられた積文に従った。

『平家物語』には源頼政の鶴退治の伝説が記されている。近衛天皇が毎夜なにかにおびえている。そのため頼政が御所を警護することとなった。深夜黒雲が湧き出し、その中から鶴と呼ばれる怪物が現れた。たちまち頼政が射落とすと、郎党である井早太が駆け寄りどめをさした。灯のもとに明らかになった鶴の特徴は、頭は猿、胴体は狸、尾は蛇、手足は虎であった。まさにこの場面である。射落とした頼政は誇らしげ、どめをさす早太は左手で鶴を押さえ、右手で刀を振りおろし必死だ。その動きが捉えられている。鶴の顔は魚のように見える。（小澤 實）

澤 7月号 目次

澤俳句鑑賞 290
津川絵理子……………18
森下秋露……………20

窓

俳書を読む

澤通信句会のお知らせ……………4

小澤 實 真贋 十五句……………8

高橋睦郎 季語練習帖 第一七五回……………10

潺潺集 小澤 實選……………12

活字のくぼみ 児玉史湖 こそば 今井 恵

酸素カニューラ 川口正博 裏金 大木圭之介

蘭草 大竹安子 御霊下 佐藤昭子

お帰り 川上弘美 サークス 結城あき

爪 根岸哲也 疎開船 東徳門百合子

栗紐 町田無鹿 位牌に句 小日向美春

五人囃子 村戸弥生 消毒 高橋球子

蝸蚌パスタ 廣瀬温代 結婚五十五年目 原 拓也

銅鐸の拓本 栗生

淵脇 護『鷹柱』／筒井慶夏『交叉』／館野 豊『時の影』／小川軽舟『無辺』／杉山久子『栞』
木内縉太……………22

詩文学芸書を読む

郡司芽久『キリンのひづめ、ヒトの指 比べてわかる生き物の進化』 根岸哲也……………24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳句界」「俳句四季」各五月号 今朝……………26

俳句結社誌を読む

「たかな」令和五年十一月号 梶等太郎……………28

定例句会の秀句 服部つぐみ……………30

通信句会の秀句 蔵田かをり……………32

仙厓のこと 十六 栗生……………34

潺湲集巻頭作家エッセイ 梶等太郎……………36

澤集巻頭作家インタビュー 大堀 柔……………37

追悼／竹内茂子

冬すみれのような茂子さん 川崎榮子……………38

有明山 鈴木尚子……………39

同人代表句 江藤鳥歩／高野鈴子……………40

同人一句鑑賞 富士峰律子／川邊 満……………41

澤研……………42

澤四十句 小澤 實選……………44

選後独言 触感の句の魅力 小澤 實……………46

澤集 小澤 實選……………48

山口刃心／中山あい／金井登子／山下希記／清水ましろ／
周藤迪之相／喜心／中山雅弘／妹尾題弘／青沼まみ／梶等
太郎／小川晴よ／服部つぐみ

新入会員／正誤表……………81

消息……………82

6月号発送報告／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………83
第245回定例会7月ご案内……………84

澤俳句叢書一覧……………85

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／
澤基金募集のお願い……………86

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………87
澤句会・カルチャー一覧……………88

広告……………89 後記……………94

デザインⅡ山口信博＋玉井一平

写真Ⅱ大友洋祐 表紙監修Ⅱ栗生

澤
令和6年7月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円